

平成30年度 地方創生拠点整備交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		平成30年度の取組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
静峰ふるさと公園魅力向上計画	指標①	静峰ふるさと公園の「施設使用料等」(事業前からの増加)	800	千円	H31.3	-776	整備した施設を活用したイベント等の開催、商工会とタイアップした食品販売等の出店 ≪ノルディックウォーク施設≫ ノルディックウォーク講習会の実施 ノルディックウォーキング用ストックの整備 ≪水上ステージ改修≫ ≪桜の植栽≫ ≪交流センター改修≫ ≪ゆきまつり≫ かまくら見学・撮影 商工会による出店(雪まつり以外も2日間出店)
	指標②	静峰ふるさと公園の「飲食・物販の出店数」(事業前からの増加)	200	店	H31.3	-23	
交付決定額:93,500千円 実績額:93,500千円	指標③	静峰ふるさと公園の「来場者数」(事業前からの増加)	30,000	人	H31.3	22,000	
事業概要	那珂ICから常陸大宮市・大子町など県北の観光地に向かうルート上にある特性を生じ、静峰ふるさと公園を四季を通じて多世代が集える拠点として整備し、新たな機能を付加することで、常陸大宮市と大子町の観光入込客数である170万人の一部を新たなターゲットとして取り込み、1万7千人程度の交流人口の増加を目指す。来場者増加により、イベント開催時の使用料や飲食店の出張販売による使用料が見込めるため、最終的には年間135万円程度の新たな収入増を図り、新たに整備した施設の年間保守点検料など維持管理費を賄う。定期的なイベントの開催や県外の観光客に向けて観光PRを兼ねた静峰ふるさと公園を含む観光ツアーを実施する他、いばらき県央地域観光協議会(水戸市・笠間市・ひたちなか市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村・那珂市)にて、マーケティングや情報発信を行い、周遊型観光ツアーの立ち寄り地等として利活用を図る。						

※事業効果・・・ A:「非常に効果的であった」(目標値以上)、 B:「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、 C:「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D:「効果がなかった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた令和元年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・目標には届かなかったが来場者数大幅増につながったことは評価できる。単年度で終わらせることなく、市民の憩いの場、集まる場として定着させるとともに、幅広い世代に向けた新たなイベント等の取組を継続することで、更なる魅力向上を。 ・交通渋滞が課題。短期集中の緩和、年間を通した呼び込み策の検討を進めると良い。 ・公園の魅力の一つはオシャレであること。若者や若い子育て世代など、オシャレな感覚を持つ方にアプローチを。また、オシャレな那珂野菜、こだわりの雑貨・カフェなどの出店によるオシャレな感覚の人を集客するイベントを。 ・みんなで作るお花畑など、自分ごとのできる企画も良いのではないかと。 ・静神社とのコラボも検討してはどうか。 ・通年での活用、そこでしかできない体験・イベントを。 ・日本一の八重桜の公園、県内一のイルミネーションなど目指してほしい。 ・今は利用が増加しているが、どこかで停滞することも考えられるため、利用増加の実態把握と、今後の施策検討が必要。 ・常陸大子方面からの帰りがけの家族連れをターゲットに国道118号沿いに遊具を強調した看板を設置してはどうか。 	更に発展させる	整備した施設を活用した新たなイベントを創出するとともに、商工会とタイアップした食品販売等の出店、来場者数増及び施設使用料の増を図る取組を強化する。 ≪ノルディックウォーク施設≫ ノルディックウォーク講習会の実施 ≪水上ステージ≫ ステージを活用した新たなイベントの開催 ≪新たなイベント≫ フィットネス体験、子ども向けの水rocketつくり体験、クライミング(木登り)体験等